

郷土しりょうかん

わたりちょうりつきょうどしりょうかん
巨理町立郷土資料館

〒989-2351 巨理郡巨理町字西郷 140

Tel 0223-34-8701 Fax 0223-34-8709

E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp



年中行事講座「お餅もちについて団子だんごさしをしよう」で
世界にひとつだけの団子の木を作りました。

次号の「郷土しりょうかん」は、4月に発行する予定です。
郷土資料館、図書館、各公共施設しせつの窓口まどぐちに置きますのでご覧ください。

テーマ展

「写真で見る巨理町のうつりかわり」開催中



～広報が伝えた町の記録～

巨理町の広報誌「広報わたり」は、町の様子や行事を町民の皆さんに伝えてきました。現在、発行から500号を越え、蓄積された写真と情報は、町の移り変わりを知ることができる貴重な資料となっています。今回のテーマ展では、「広報わたり」用に撮影されてきた写真を中心に、明治時代から現在に至るまでの写真から、町の移り変わりをみてみます。

この展示は3月22日(日)まで開催しています。今回は展示した写真の中から2点を紹介します。

桜 町(明治時代)



巨理町字五日町の交差点から東側の道路(現在の県道巨理停車線)を撮影したものです。

道の両側が桜並木だったところから桜町といわれました。

鳥の海風景(大正時代)



現在の巨理町荒浜字御狩屋近辺を撮影したものです。ここは江戸時代に巨理伊達家の狩場があり、休憩所があったことから「御狩屋」と呼ばれるようになりました。

写真下の注釈には「伊達杉實公」とありますが、おそらく「伊達成実公」の誤記だと思われます。

お餅をついて団子さしをしました



1月10日に、家庭教育支援基盤形成事業の一環で小正月行事の団子の木作りを行いました。参加した親子9組25人は、講師の荒浜婦人会長の濱野かじ子さんから小正月行事のお話を聞いた後、同じ婦人会の阿部みや子さんと橋本かつ子さんに教わりながら、豊作への願いを込めて紅白の餅を小さくちぎって丸めたものをミズキにさし、飾りをつけて団子の木を作りました。自分の分だけでなく、悠里館に飾る大きな団子の木も参加者が皆さんで協力して仕上げました。

その後、臼と杵での餅つきを体験し、きな粉餅にして試食しました。皆さんは、団子の木のできばえと、つきたてのお餅のやわらかさとおいしさに大満足の様子でした。



楽しみなきな粉餅試食の準備中

毎年好評の

ものしい大学院開講！

郷土の歴史と文化を学ぶ基礎知識を伝えるために開催してきた「ものしり大学院」も、今年で6回目を迎えます！今回は、「奥州藤原氏と平泉文化」について学びます。
第一線で活躍されている専門家のお話を、この機会にぜひご聴講ください。



開催日程

会場：悠里館3階 図書館視聴覚ホール
時間：午後1時30分～午後3時30分

聴講無料！

第1回 3月7日(土)

「奥州藤原氏と平泉文化」 講師 東北芸術工科大学教授 入間田 宣夫 氏

奥州藤原氏は平安時代、平泉を中心に四代に渡って独自の文化を築き上げました。この奥州藤原氏と平泉文化の基礎知識を学びます。

第2回 3月15日(日)

「前九年の役・後三年の役」 講師 岩手大学教授 樋口 知志 氏

奥州藤原氏初代清衡の父は、巨理 権 大夫藤原経清です。その経清が活躍した前九年の役と、藤原氏が平泉に居を構えるまでの過程を学びます。

第3回 3月28日(土)

「平泉の文化遺産」 講師 前平泉町世界遺産登録準備室 室長補佐 八重樫 忠郎 氏

奥州藤原氏の残した遺産は、日本が世界に誇るものであり、世界遺産の登録を目指しています。この平泉の文化遺産について学びます。



悠里館フロアコンサート

folklore を楽しもう！

3月8日(日)開催

14:00～15:00

ケーナ、サンポ ニャ、チャランゴなど独特の楽器を用いた
素朴な南米の民族音楽を一緒に楽しみましょう。

会場 悠里館 1階エントランスホール

出演 ムシカ・アンディーナ

入場料 無料



郷土資料館カレンダー



2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 建国記念の日	12	13	14
15 おひな さまを 作るう	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27 資料 整理日	28

開館時間 9:00~16:30 (入館は16:00まで)
は休館日

3月



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 ものし り大学 院
8 フロア コンサ ート	9	10	11	12	13	14
15 ものし り大学 院	16	17	18	19	20 春分の 日	21
22 テーマ 展最終 日	23	24	25	26	27 資料 整理日	28 ものし り大学 院
29	30	31				

どこでもパスポート以外のパスポート利用日

利用状況

H20.12.1 ~ H21.1.31

常設展

資料館を開館した日..... 4 2日間
観覧者数
個人..... 3 4 1人
団体..... 0人
合計..... 3 4 1人(1日平均8人)



どこでもパスポート利用者

利用日数..... 4 2日
利用者数
町内..... 6 1人
町外..... 1 0人
合計..... 7 1人 (利用日平均2人)

おわりに

日本では昔からさまざまな年中行事が行われてきました。江戸時代にその中から幕府が特に重要な節日を選んで、「五節句」として決めました。1月7日(人日)の「七草の節句」、3月3日(上巳)の「桃の節句」、5月5日(端午)の「菖蒲の節句」、7月7日(七夕)の「七夕節句」、9月9日(重陽)の「菊の節句」がそれにあたります。「五節句」は明治時代に入って制度としては廃止されましたが、皆さんもご存知のように、現在でも年中行事として盛んに行われていますね。

そして、江戸時代に5月5日が男の子の節句、3月3日の雛祭りが女の子の節句と考えられるようになりました。雛祭りは、ひな人形を飾って桃の花や菱餅を供え、白酒を飲んで祝う、女の子にとってはとても楽しい特別な日です。

郷土資料館でも、常設展示室に3月中旬まで「巨理伊達家の雛人形」を展示しています。この機会にテーマ展とあわせて、是非ご家族で見にいらしてください。